

2019年度

事業計画書

公益財団法人京都技術科学センター

I 公益目的事業 1 (研究助成事業)

技術立国日本を支える科学技術の振興を図るため、若手研究者が行う研究開発に必要な経費を助成するとともに、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考する。

1 2019年度研究開発助成金の交付

平成30年度第2回定時理事会で決定する研究開発助成テーマに係る研究開発に必要な経費を研究者に助成する。

- (1) 名 称 2019年度研究開発助成金
- (2) 助成件数 14件
- (3) 助成総額 1,400万円

なお、年度当初に所要の財源が得られる見通しが立った場合には、補欠の中から追加で助成できるものとする。

2 2020年度研究開発助成テーマの募集と選考

2020年度に助成する研究開発助成テーマを募集し、審査・選考する。

- (1) 募 集 対 象 近畿地方、北陸地方(富山県、石川県、福井県)、中国地方、四国地方の大学(付属研究所を含む。)及び工業高等専門学校並びに公的研究機関に所属する若手研究者(40歳未満)
- (2) 研 究 分 野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって次の分野に属するもの
材料技術・機械技術・電気電子技術
- (3) 研 究 期 間 原則として2020年4月から2021年3月までの1年間
- (4) 助成限度額 120万円
- (5) 助成総額 1,400万円程度

II 公益目的事業2（人材育成事業）

科学技術の振興と産業の発展を担う人材の育成事業を行う。

1 技術セミナー

長期ビジョンの実施計画に基づき、ものづくり先端技術セミナーを継続開催するとともに、新たにマイクロ波・ミリ波セミナーを開催する。

(1) ものづくり先端技術セミナー

ア 目的	中小企業の新技術・新規材料への関心を高め、ものづくり技術の高度化を促進する。
イ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都府中小企業技術センター
ウ 開催回数	年4回
エ 対象者	関連企業の技術者・研究者
オ 募集人員	各回30人
カ 受講料	無料

(2) マイクロ波・ミリ波セミナー

ア 目的	マイクロ波・ミリ波に関連した基礎知識や技術、製品の評価手法の向上を図る。
イ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都府中小企業技術センター
ウ 開催回数	年3回
エ 対象者	関連企業の技術者・研究者
オ 募集人員	各回35人
カ 受講料	無料

2 技術研究会

長期ビジョンの実施計画に基づき、品質工学研究会の取組を改編するとともに、新たに機械設計・計測技術研究会及びものづくり分析評価技術研究会を開催する。

CAE技術研究会は、所期の役割を終えたと判断し、平成30年度をもって終了する。

(1) 品質工学研究会

京都府中小企業技術センターと共催してきた京都品質工学研究会が平成30年度をもって終了することに伴い、新たに関西品質工学研究会とシンポジウムを共催する。

ア 名称	品質工学シンポジウム2019 in おおさか
イ 主催	関西品質工学研究会

ウ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
中部、滋賀、広島の各品質工学研究会
エ 開催時期 2019年10月4日（金）
オ 会 場 CIVI 研修センター新大阪東 E5Hall（大阪市）
カ テ ー マ 「A I / I o T時代の品質保証と品質工学の役割」（仮題）
キ 内 容 基調講演、研究発表、パネルディスカッション
ク 参加人員 150人

（2）機械設計・計測技術研究会

ア 目 的 機械設計・製図に必要な基礎知識から機械部品等の形状評価を行う計測技術
まで理解を深め、電気入門にも触れることを通じて、設計技術力の高い人材の
育成を図る。
イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
ウ 開催回数 年6回
エ 対 象 者 関連企業の技術者
オ 募集人員 10人
カ 会 費 年額10,000円/人

（3）ものづくり分析評価技術研究会

ア 目 的 京都府中小企業技術センターが保有する高度分析装置に関して、最新
動向から高度な活用法まで、事例を持ち寄り学ぶことを通じて、ものづ
くり企業の技術力の向上と製品開発の後押しを図る。
なお、テーマとする分析機器は、毎年度変更する。
■対象機器（予定）
2019年度 フーリエ変換赤外分光光度計、レーザーラマン顕微鏡
2020年度 テラヘルツ非破壊検査装置、分光エリプソメータ
2021年度 X線光電子分光分析装置、F E オージェ電子分光分析装置
イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
ウ 開催回数 年4回
エ 対 象 者 関連企業の技術者
オ 募集人員 8人
カ 会 費 年額10,000円/人

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者を育成するため、科学技術やものづくりへの関心を高める取組の一環として、高校生、高等専門学校生、大学生及び大学院生を対象に、斬新で独創的なアイデアを募集し、書類審査通過者を対象にコンテストを開催する。

- (1) 名 称 テクノ愛2019
- (2) 主 催 テクノ愛実行委員会
- (3) 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都大学産官学連携本部
- (4) 後援（予定） 文部科学省
近畿経済産業局
京都府教育委員会
京都市教育委員会
NHK京都放送局
国立研究開発法人科学技術振興機構
日本ベンチャー学会
関西ベンチャー学会
- (5) 協賛（予定） 大阪大学産学共創本部
神戸大学学術・産業イノベーション創造本部
京都工芸繊維大学研究戦略推進本部
大阪電気通信大学
関西サイエンス・フォーラム
- (6) 協力（予定） 京都大学生協同組合
- (7) 応募資格 高校の部 全国の高校生、高等専門学校3年生まで
大学の部 全国の大学生、高等専門学校4・5年生、大学院生
- (8) 応募期間 2019年6月3日～9月11日
- (9) 審査方法 選考委員による書類審査で、コンテストに進む高校の部、大学の部各9テーマを選考。コンテストでは、プレゼンテーションに基づき審査
- (10) コンテスト 開催日 2019年11月23日（土・祝日）（予定）
開催場所 京都大学国際科学イノベーション棟 （予定）
- (11) 表彰等 高校の部、大学の部ごとにグランプリ、準グランプリ、優秀賞及び奨励賞を、また総合の部としてテクノ愛賞を選考し、賞状、表彰楯及び副賞を授与する。
また、コンテストに進まなかったテーマのうち、書類審査で健闘したと認められたものに、健闘賞として賞状及び副賞を授与する。
- (12) 参加料 無料

4 科学館・技術館訪問研修

中学生及び高校生を対象に、夏休み期間を利用して、高い技術力を有する企業等を訪問し、研究開発の歩みや経験、将来展望等の講話を聴くとともに、生産工程等を見学することを通じて将来の技術者や研究者の芽を育てることを目的に研修会を開催する。

- (1) 名 称 科学館・技術館訪問研修
- (2) 後援 (予定) 近畿経済産業局
京都府教育委員会
京都市教育委員会
- (3) 開催時期 2019年8月上旬
- (4) 訪問先 株式会社川島織物セルコン本社・市原事業所 (予定)
- (5) 参加資格 近畿地方の中学生・高校生及び教員
- (6) 募集人数 40人
- (7) 参加料 無料

5 おもしろサイエンス

小学生を対象に、夏休みと冬休みの期間を利用して、科学実験や工作を体験することを通じて科学への関心や理解を深めることを目的に実験教室を開催する。

なお、2019年度は、当センター本館の大規模修繕工事が9月末まで予定されているため、夏休みの実験教室は開催しない。

- (1) 名 称 おもしろサイエンス「クリスマスの実験教室」
- (2) 協 力 サイエンスEネット
- (3) 後援 (予定) 京都府教育委員会
京都市教育委員会
- (4) 開催時期 2019年12月下旬
- (5) 会 場 京都技術科学センター本館1階B会議室
- (6) 参加資格 近畿地方の小学生 (保護者同伴)
- (7) 募集組数 午前の部 20組 (小学生20人と保護者)
午後の部 20組 (小学生20人と保護者)
- (8) 参加料 無料

6 科学技術情報等提供

ホームページを活用して、当センターが実施する事業やイベントの周知、研究開発助成成果報告書の掲載、各種人材育成事業の開催状況等の情報を提供し、利用者やイベント参加者の拡大を図るとともに、科学技術情報を広く発信する。

Ⅲ 収益事業

公益目的事業の実施に必要な財源を得るため、本法人が所有する建物・土地を事務室・研究室・倉庫、駐車場等として賃貸するとともに、会議室を貸し出し、その収益を活用する。

2019年度は、長期ビジョンの実施計画に基づき、講堂（ホール）を改装して貸室等に転用する資産有効活用計画についての調査・検討を行う。

Ⅳ その他

1 長期ビジョンの具体化

平成30年度第2回定時理事会で決定する長期ビジョンの実施計画に基づく各種取組を推進する。

2 建物・設備の改修等

長期ビジョンの実施計画に基づき、本館建物の大規模修繕工事をマンハイム鴨川管理組合と共同で実施するとともに、トイレの改修並びに汚水管、ポンプ及びエアコンの更新の工事を行う。

(1) 大規模修繕工事

ア 工事の概要

本館建物の躯体補修、外壁塗装、屋上防水等

イ 工事の時期

2019年5月上旬から2019年9月下旬まで（予定）

ウ 工事費（当センターの負担分）

30,000,000円

(2) トイレ改修工事

ア 工事の概要

本館地階東側トイレ、1階西側男子トイレ及び1階西側女子トイレの改修

イ 工事の時期

大規模修繕工事の終了後

ウ 工事費

24,000,000円

(3) 污水管更新工事

ア 工事の概要

今回改修工事を行うトイレに接続する污水管の更新

イ 工事の時期

トイレ改修工事と同時期

ウ 工事費

1,500,000円

(4) ポンプ更新工事

ア 工事の概要

老朽化した加圧給水ポンプ及び消火ポンプの更新

イ 工事費

3,000,000円

(5) エアコン更新工事

ア 工事の概要

老朽化したエアコンを対象に、退居時等に5台程度更新

イ 工事費

2,000,000円